

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。



朝日大学では、「地域と共に歩む大学として日頃の研究成果を社会に還元する」ことを目的に、1987年度から日常生活に身近な話題をテーマに取り上げた公開講座を開講している。

第24回となる今年度は、創立40周年記念として三重大学、高山市の飛騨・世界生活文化センター、瑞穂市の総合センターを会場とし、多彩なテーマで開催。地域社会の子供から大人まで幅広い層の人々へ学習の機会を提供した。

## OPEN LECTURE



# 大学教育の未来

## 大学の果たすべき役割

高等教育機関である大学は、学術の府として高い教養と専門知識を培うとともに、深く真理を探求して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に還元することで社会の発展に寄与する役割を担っている。

瑞穂市総合センター内サンシャインホールでは、日本の高等教育の第一人者で京都大学総長、臨時教育審議会会長等を歴任した岡本道雄氏（学校法人朝日大学理事、専門：脳神経解剖学）、中部圏を牽引する岐阜大学の森秀樹学長（専門：腫瘍病理学）と三重大学の内田淳正学長（専門：整形外科学）を迎、「公開講座in瑞穂Part II」が9月11日（土）に開催された。



岡本道雄氏から深く静かにメッセージが発信される  
ある」と語り、「人間、こころ、哲学」を見つめ直す先にこそ「大学教育の未来」、そして「人類の未来」があるとのメッセージが発信された。

続いて、本学の大友克之学長（専門：整形外科学）も加わり行われた三学長による講演並びにパネルディスカッションでは、教育者として、また医師としての立場でそれぞれリーダーとして活躍する学長たちから、大学間連携や地域貢献など現代社会が求める「大学の果たす役割」について



## 朝日大学40周年記念 公開講座

岡本 道雄  
名譽大学院教授  
日本医科大学客員教授  
京都大学医学部客員教授、准教授  
東洋大学客員教授  
獨特の医療施設を有する大学院  
大学教育の 未来

大学は、學術の府として高い教養と専門知識を創造し、その成果を広く社会に還元することによって社会の発展に寄与する役割を担っています。今回の講座では、日本の高等教育の第一人者と、中部圏を牽引する岐阜大学の森秀樹学長、三重大学の内田淳正学長と、朝日大学の三学長を招いたパネルディスカッションにて、教育者としての立場による議論を行っていただきたいと存じます。世界を出て、また世界に向けてそれが何を示すか――これが一つの目的です。

森秀樹  
岐阜大学  
医学部  
腫瘍病理学  
准教授

内田淳正  
三重大学  
整形外科学  
准教授

「公開講座in瑞穂Part II」のリーフレット



三学長のパネルディスカッション「大学の果たす役割」

て、受講者へ熱く語りかけられた。

県内外から集った1,000名を超える受講者は、「大学教育の未来」、「人類の未来」に想いをめぐらしていた。



三大学の学長がかたい握手を交わす

# 裁判員制度～開始から1年を経て～

## 岐阜県弁護士会との連携

朝日大学と学術交流協定を締結している岐阜県弁護士会の後援を受け、瑞穂市総合センター内サンシャインホールで9月4日(土)に開催された「公開講座in瑞穂PartI」では、有権者のだれもが参加する可能性のある「裁判員制度」をメインテーマにし、県弁護士会の中澤康介弁護士(法テラス岐阜法律事務所)と本学法学部の大塚錦子教授(弁護士)による講演が行われた。

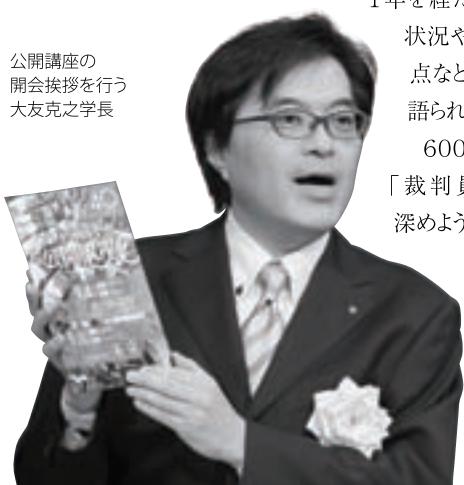
講演では、裁判員裁判の弁護経験がある中澤弁護士から「裁判は白か黒を決めるのではなく、黒か黒でないかを決める場である」など、わかりやすく裁判員制度が解説された。また大塚教授からは、開始から

### 1年を経た裁判員裁判の実施

状況や裁判員の注意すべき点などがデータを交え詳しく語られた。

600名を超える受講者は、「裁判員制度」への理解を深めようと、熱心に講演を聴講した。受講者の知識を吸収しようとする積極的な姿勢が印象的な公開講座となった。

公開講座の開会挨拶を行う  
大友克之学長



わかりやすく裁判員制度を解説する中澤康介弁護士



1年を経た裁判員裁判の実施状況を語る大塚錦子教授

# 三重大学で講演

## 大学間連携

本学との包括的連携協定を締結している三重大学(三重県津市)で6月22日(火)に「大学間連携講座」が開催された。

この講座では、本学の大友克之学長が講師を務め、三重大学の幹部教職員約60名を対象に「医学・歯学の現状と未来」と題した講演が行われた。受講者からは「私立大学の経営努力が理解できた」という声が

聞かれた。

東海地域の知の拠点として数多くの有為な人材を輩出し、地域社会、環境及び産業の発展向上に貢献している両大学では、同地域への社会貢献をより一層促進することで、本年2月に連携協定が締結され、様々な連携事業が展開されている。



大友学長の講演に耳を傾ける三重大学教職員

# 「ハンドボール」クリニック

## 「ぎふ清流国体」開催地の高山市で

全日本ハンドボール男子の元代表選手で、本学体育会ハンドボール部の下川真良監督や同部員らがインストラクターを務めた公開講座が、高山市の飛騨・世界生活文化センターで7月3日(土)に開催された。

ハンドボールの振興と競技力向上をめざし開催された今回の公開講座。会場となった同センターには、飛騨高山高校、高山工業高校、高山西高校のハンドボール部員や指導者ら約50名が集結。全日本トップレベ

ルの指導やクリニックを高校生たちは、一言も聞き逃すまいと、また、一瞬たりとも見逃すまいと目を輝かせながら受講していた。

なお、「ぎふ清流国体(2012年開催)」では、岐阜県内の強豪高校が集う飛騨地域がハンドボール会場に決定している。



下川真良監督(元全日本代表)の講演と実技指導



あこがれの講師や先輩大学生との記念撮影

## EVENT



## 「講演と懇親の会」を開催

### 企業人事採用担当者と交流

「2010年度朝日大学講演と懇親の会」が10月20日(水)に、名古屋駅のマリオットアソシアホテルにおいて盛大に開催された。

同会は、本学学生の就職対策の一環として毎年開催される行事で、各企業の人事採用担当者を招き、日頃の本学に対する就職支援への感謝と、本学教職員とのより一層の人事交流を深めていただくことを目的として開催されている。本年は愛知県、岐阜県などの企業を中心に、およそ300名の人事担当者の参加があった。



マーケティングの現場が語られる

今回の講演テーマは「マーケティングの現場から—テレビ視聴率アップのための努力—」(講師=経営学部鈴木博道教授)で、企業社会の存続に欠かすことのできないマーケティング戦略の講演内容に、参加者たちは熱心に耳を傾けメモを取っていた。

### 活発な情報交換

講演会終了後には、会場を移し懇親会が開催された。会場内では各企業の人事担当者と本学教職員とが企業の採用状況、卒業生の近況や社会情勢などについて活発に情報交換を行い、有意義な「講演と懇親の会」となった。

## 入院患者を癒すコンサート

本学歯学部附属村上記念病院(岐阜市橋本町)で、入院患者らを対象にした院内ミニコンサートが開催され、200名を超える聴衆が演奏に聴き入った。

今回のコンサートでは、地元の病院や福祉施設などでボランティア活動を行っている三田洞 聽衆はハーモニカの音色に聞き入るボランティアズが、ハーモニカで童謡やクラシックなどを演奏した。童謡「ふるさと」がハーモニカで奏でられると入院患者たちは目を閉じ歌詞を口ずさみ、郷愁に浸っていた。

このコンサートは、地域貢献の一環として毎年夏と冬に行われており、病院生活でふさぎがちになる入院患者の心を癒している。



聴衆はハーモニカの音色に聞き入る  
ボランティアズが、ハーモニカで童謡やクラシックなどを演奏した。童謡「ふるさと」がハーモニカで奏でられると入院患者たちは目を閉じ歌詞を口ずさみ、郷愁に浸っていた。

## 授業力向上講座で高大連携

県内の商業高校の教諭を対象とした授業力向上講座において、本学マーケティング研究所の中畠千弘所員(経営学部教授)が「商品開発」をテーマに2日間にわたり研修の講師を務めた。

この研修は、新学習指導要領の新設科目である「商品開発」の指導内容に対応した講座として岐阜県総合教育センターで開講されたものである。

### 実践的な研修

1日目は、企業等における商品開発の具体的な事例を取り上げ、グループでのワークショップなどを通して、商品開発のプロセスについて解説。

2日目は、地域の課題やニーズを踏まえて、商業高校が取り組むべき商品開発について、各高校の事例を紹介しながら、意見交換を行った。また現行科目の「マーケティング」、「商品と流通」でも活用可能な商品開発のケーススタディを実践。「文房具」を題材に、アイデア開発からコンセプト立案、ネーミング・キャッチコピー設定までを行った。参加教諭らは、商品開発の企画・開発を授業で展開すべく、熱心に取り組んでいた。

同研究所では、今後も参加した教諭らとの意見交換を行いながら、高大連携に取り組んでいくこととなる。

## 賢い債務者!

### 「フロンティアセミナー」を開催

本学1号館大講義室において、瑞穂市とその周辺地域にある大垣共立銀行の5支店が主催する「第19回フロンティアセミナー」が本学協賛のもと10月14日(木)に開催。岐阜市、瑞穂市、本巣市などの市民ら約100名が本学法医学部平田勇人教授の講演を聴いた。

本セミナーは、大垣共立銀行が、同行の進める地域活性化事業の一環として実施している催事で、朝日大学では同セミナーに対し、「大学の知的財産」を地域社会の皆様に還元できればと、第1回目の開催から協賛している。

### お金は借りないほうがいい!

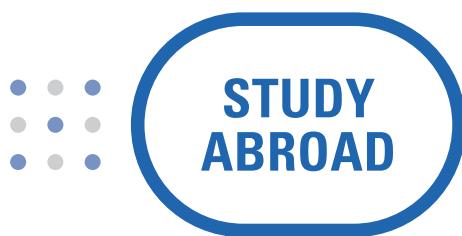
今回のセミナーでは、平田教授から「賢い債務者」と題して、お金は借りないほうがよいが、やむを得ず借りるときにはどんなことに気をつけたら良いのかなど、「賢い債務者」について実例などを織り交ぜながらの講演が行われた。受講者は身近なテーマに真剣な眼差しで講演に聴き入っていた。

このフロンティアセミナーは、今後半年に一度本学を会場として開催される予定である。



「賢い債務者」を解説する平田勇人教授

# 歯学部海外5カ国8大学で研修



## 実り多き成果を報告

本学歯学部では、国際的な視野を持ち、幅広く活躍できる歯科医師を育成するために、毎年夏季休業期間等を利用した学生の「短期海外研修」を実施している。

5年生を対象とした海外研修の費用は全額大学が負担。学生にとっては、海外の医療の現場を知る絶好の機会といえる。

今回、海外5カ国8大学での実り多き研修が終了し、研修成果が報告(提出)された。



アメリカ

カリifornia大学  
ロサンゼルス校

5名



歯科医師として「生涯研修における向上心が重要」とのレクチャーを受ける。教員は学生を歯科医師として扱い、学生は歯科診療を通じ歯科医師としての自覚を養う。卒業するための学業ではなく、「一生懸命」学び続ける姿勢に共感。



中国

北京大学  
口腔医学院

5名



年間手術件数4,000件の口腔医学院付属病院。早朝から病院前に行列ができることも珍しくなく全てに圧倒される。学生の意欲の高さとレベルの高さに、自分たちも負けられないという思いを強くする。



アメリカ

アラバマ大学  
バーミングハム校

5名



学生自身が自分の患者を受け持つておらず、そのモチベーションの高さに驚く。パーティでは日米の学生全員が浴衣姿となったり、書道を披露するなど日本文化の紹介も行う。



中国

第四軍医大学  
口腔医学院

5名



西安は、秦始皇帝兵馬俑博物館、陝西歴史博物館など中国の歴史とスケールを目の当たりにする地。軍医を養成する大学で学ぶ学生たちは、礼儀正しく真面目だが、大変気さくで優しい。



アメリカ

テキサス大学  
サンアントニオ校

5名



一週間の研修期間中、ホスト学生と常に行動を共にし交流を深める。そこで日本とアメリカ、歯科医師とDentist、彼我の違いを実感。濃厚なコミュニケーションで知る真の国際性。



イタリア

シエナ大学

2名



シエナ大学は1240年に設立された歴史ある大学。そして町自体が世界遺産のシエナ、その美しさと歴史の重みに圧倒される。歯科治療の考え方、治療方針における日本とイタリアの違いを学ぶ。



メキシコ

メキシコ州立自治大学

5名



トルーカ市はメキシコ15番目の都市、真夏でも朝晩は上着がいるほど涼しく過ごしやすい。しかしそこに住む人々は対照的にものすごく熱く、ホームステイで体験する情熱的なおもてなしに感激。また、病院で抜歯や根管治療を実際にできる唯一の海外研修先。



フィンランド

トゥルク大学

2名



トゥルクはフィンランドの古都、伝統を大切にしつつ新しいものを取り入れていくたくましさを感じる。研修では日本と異なる北欧の「歯科医療システム」を学ぶ。

**TOPICS**

## 警察と連携し 防犯教室を開講

本学法学部の学生団体「めぐる」が、岐阜県警北方署ならびに瑞穂市と連携し「防犯教室」を本田コミュニティーセンター(瑞穂市本田)で開催した。

防犯教室は瑞穂市の放課後児童クラブの小学生を対象として行われ、防犯ブザーを持っていない時などに役立つ「大声出し訓練」で、子供たちと一緒に大声を出し周りの大人に危険を知らせる練習を、また声をかけてきた怪しい人から逃げる練習では、大学生が怪しい人に扮し屋外広場で「20mダッシュ」の訓練を行った。参加した子供たちは、真剣な様子で危険を回避する方法を大学生と一緒に学んでいた。



室内では「大声出し訓練」を、

屋外広場では「20mダッシュ」を行う

### 「振り込め詐欺防止」活動

また、十六銀行穂積支店(瑞穂市内)では、法学部の学生たちが岐阜県警北方署ならびに同行行員と協力し、「振り込め詐欺防止」のリーフレットを利用者に配付、後を絶たない振り込め詐欺の防止活動を行った。

朝日大学では、今後も地域社会との連携をはかり、地域住民の犯罪防止や防犯意識の向上に努めていくこととなる。

## 地元に愛される大学づくり

全日本学生や関西学生でトップレベルの実力を誇る本学体育会フェンシング部が、「つどいの泉」(瑞穂市牛牧南部コミュニティーセンター)で行われた夏祭りにボランティアメンバーとして参画し、地域社会との交流をはかった。

### 地域社会との交流

部員たちは、日頃練習で培った体力を活かし早朝から会場設営や各種催し物の準備を次々とこなしていった。その後、祭りが始まると部員たちは童心に返り地元の子供たちと一緒にしゃいだり、フェンシング競技の魅力を身振り手振りでわかりやすく解説していた。

今後も地域社会の皆様と体育会との積極的な交流を深め、地元に愛される大学づくりを進めていくこととなる。



会場設営や催し物の準備を行う部員たち

## 海外の歯学部学生を受け入れ

本学と姉妹校協定を締結している北京大学口腔医学院(中国)とメキシコ州立自治大学の教員・学生らが、短期海外研修のために来日し本学歯学部で最先端の歯科医療を学んだ。

両大学の学生たちは、穂積キャンパスで藤原周歯学部国際



熱烈歓迎の記念写真

交流委員長から本学における歯学教育の現状や日本文化に関する講義を受講し、附属病院や教育研究施設などを見学。その後は、平田健一歯学部教授の指導のもとシミュレーション実習を体験、先端的な日本の歯科医療を学び短期海外研修のカリキュラムを無事修了した。

### 相互交流を深める

研修終了後には、岐阜市内のホテルで修了式が開催され、大友克之学長や田村康夫歯学部長から修了証書を授与。証書を受領する学生たちは充実感いっぱいの笑顔にあふれ、修了記念パーティーでは、両大学の学生・教職員が交流を深めると共にそれぞれが再会を約束していた。

## 企業が求める人材とは

### 早期就職支援がスタート

本学穂積キャンパス6号館大講義室で、法学部及び経営学部の1・2年生を対象とした「企業と人材」講演会が9月29日(水)に開催された。同講演会は、文系学部の学生が入学時から4年後を見すえ「職業観」や「就職意識」を身につけることを目的に早期就職支援の一環として、毎年開講している講演会である。

今回の講師には、女性タレントへの衣装提供で数々のメディアから注目され、レディースファッション界をリードする地元のラブリークイーン(株)代表取締役社長井上真典氏を招聘し、「学生から社会人への心構え」をメインテーマに講演が行われた。



井上真典代表取締役社長が学生に熱く語りかける

講演では、本学経営学部出身である井上氏自身が代表取締役社長を務める会社での採用活動を通じ、企業が求める人材像、社会人の心構え、企業の社会貢献の在り方などが熱く語られ、出席した600名近い学生たちは目を輝かせ熱心に講演に耳を傾けていた。

この「企業と人材」講演会は、別に開催されている「OB・先輩によるアドバイス講座」とともに、学生にとって心強い就職支援の行事となっている。

### ラブリークイーン(株)

「愛と感動で女性を美しくすること」(raison d'être:存在意義)

売上高108億円(2010年5月実績)を誇るレディースファッション界のリーダー(本社)岐阜市加納寿町2-5 東京本部ほか大阪などに3つのオフィスをもつ

# 6年連続「総合入賞」をはたす(自転車競技)

「文部科学大臣杯第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会」が、8月26日(木)から8月29日(日)に青森県八戸競技場で開催され、本学体育会自転車競技部は「男子総合6位入賞」、「女子総合3位入賞」の好成績を収め、創部3年目からの「男子6年連続総合入賞、(女子3年連続)」をはたした。



## 3種目で「準優勝」

トラック競技8種目及びロード競技1種目の総合成績で争われる「全日本インカレ」には、基準タイムをクリアした全国41大学から学生が出場、「タンデムスプリント準優勝(尾形・松本:共にビジネス企画3・1年)」をはじめ、トラック部門で4種目に入賞をはたした本学自転車競技部(男子)は、伝統ある強豪大学がしのぎを削るなか堂々の「総合6位入賞」という競技成績を収めた。

また、昨年度から参戦となった女子部門では、「3km個人追い抜き競争、ロードレース」で準優勝を収めた明珍裕子(ビジネス企画3年)をはじめ3名の部員がそれぞれ活躍し、「総合3位入賞」を獲得、2年連続のベスト3入りをはたした。



強豪校と争い「タンデム」準優勝を収める

# 東海リーグ(女子)を制覇(卓球)

名古屋市名東スポーツセンターで9月8日(水)～9月10日(金)に開催された「東海学生卓球秋季リーグ戦」において、本学体育会卓球部は女子が「優勝」、男子は「準優勝」に輝いた。

最終戦まで男女ともに全勝(4勝)で迎えた最終日、宿敵愛知工業大学と優勝をかけて戦った一戦は、女子は本学卓球部の実力が勝り東海リーグを制覇、一方、男子は愛知工業大学に敗れ「準優勝」に甘んじた。この悔しさをバネに、来シーズン「男女アベック優勝」を目標に掲げた卓球部のスタートはすでに切られた。

## 卓球フェスティバルに参画

また、東海リーグを終えた選手たちは、9月11日(土)に岐阜アリーナ(岐阜市藪田)で開催された「卓球フェスティバル」に参画。参加者約300名を前に、ともに日本リーグ女子(1部)で戦う十六銀行の選手たちと卓球教室や模擬演技を披露し、卓球の魅力を伝えた。

このフェスティバルは、2012年開催の「ぎふ清流国体」を盛り上げようと昨年に引き続き開催された催事で、参加者たちからは、「丁寧に教えてもらって楽しかった、清流国体が待ち遠しい」との声が聞かれた。



卓球フェスティバルのリーフレット

# オールデンタルで大活躍

「第42回全日本歯科学生総合体育大会(夏期部門)」は、本学姉妹校の明海大学が事務主管を務め8月に開催された。本学歯学部は今大会「総合10位」の成績を収め、昨年の総合26位から大きく順位を上げ大躍進を遂げた。

同大会は、「オールデンタル」の名で親しまれ、全国歯科大学・歯学部の国公私立29大学が25競技(夏期:22部門、冬期:3部門)で争う伝統あるスポーツイベント。

歯科医師をめざし、勉学との両立をはかり大会に望んだ本学歯学部の学生たちは、今大会においてゴルフ、柔道、準硬式野球の3競技でそれぞれみごと優勝をはたすとともに、日本拳法、アメリカンフットボール、ヨットの各競技では部門主管を担当し大会運営を盛り上げた。本学歯学部の次回大会でのさらなる躍進が楽しみである。



準硬式野球部の優勝報告

## 柔道 東海学生(女子)で3階級制覇

「第27回東海学生女子柔道体重別選手権」(8月28日)でみごと3階級を制覇。

- |        |    |             |
|--------|----|-------------|
| 48kg級  | 優勝 | 瀬戸口 彩(法1年)  |
| 70kg級  | 優勝 | 國分 かおり(法3年) |
| 78kg超級 | 優勝 | 富山 美里(法3年)  |

## ホッケー 西日本で初の準優勝、東海では優勝

「第38回西日本学生ホッケー選手権」(8月28～9月5日)で創部以来初となる準優勝に輝く。

「東海学生秋季リーグ」(9月11・12日)で優勝。「関西学生秋季リーグ」(10月17日)で準優勝。



# NEWS



## 秋季学位記授与式

朝日大学秋季学位記授与式ならびに修了式が、9月18日(土)に本学穂積キャンパス6号館大講義室において華やかに挙行された。

今秋の卒業生・修了生は、学部卒業生26名、大学院修了生2名、留学生別科修了生28名。式典では大友克之学長から、学位記、修了証書が一人ひとりに手渡され、卒業生らは緊張しつつも充実感に満ち溢れた面持ちで学位記を受領していた。

### 新たな門出を祝福

教職員・父母等に拍手で送り出された卒業生たちは皆、朝日大学での学生生活の日々を振り返りながらも、これから始まる新生活への希望に満ちた表情であった。また式典終了後には、卒業記念パーティーが6号館ホールで開かれ、卒業生たちが新たな門出を互いに満面の笑顔で祝福し合っていたのが印象的であった。



学位記・修了証書が一人ひとりに授与された

卒業生諸君に

### 建学の精神の延長線上に

地球には、多くの生物が棲んでいるが、その中で人間は最高の環境を創り得る生物である。

人間は、地球に適応する優秀性をもっているはずであるのに、地球上に秩序なく種を求める。逆に、人間は種として巨大化しすぎ、自ら競争や内紛を起こし、また、他の種の巨大化に抗して戦いを誘発させる。

これらの問題の発生原因は、人間であることを知っているのも人間である。

蓄積された核エネルギーが、自ら自然生態系の破壊を引き起こし、人類自身の滅亡を導くとなれば、人類の生存にかかわる大問題である。

今日、世界の抱えているこのような問題を解決するためには、人類普遍の人間的知性が必要である。

人間は、心豊かに学術的、国際的な生涯学習と研究活動をすることが望ましい。たとえ、どのような専門分野にあろうとも。

朝日大学

創立者

宮田慶三

大友克之学長から卒業生へ、創立者の「建学の精神の延長線上に」が送られる



卒業記念パーティーで新たな門出を祝福

## 秋季入学式を挙行

すがすがしい秋空の下、朝日大学秋季入学式が、9月21日(火)に本学穂積キャンパス6号館大講義室において厳粛に挙行された。

今秋の入学者は総員55名(学部入学者16名、大学院入学者3名、留学生別科入学者36名)であった。学長告辞を緊張した面持ちで受けた新入生の新たなページがここ朝日大学でスタートすることとなり、有意義で充実した学生生活が送られることを期待する。

### 建学の精神遵守を誓う

入学式では、大友克之学長から、入学許可に引き続き「建学の精神に基づき朝日大学での勉学・研究にそれが邁進し、有意義な学生生活を送ってください」と告辞が述べられ、入学生の代表からは、「建学の精神を遵守し、学業成就に向けて日々努力する」旨の力強い宣誓が行われた。



入学の宣誓が力強く行われた

新入生たちは、建学の精神(国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成)を胸に、またこれから始まる朝日大学でのひかり輝くキャンパスライフに、希望に満ちあふれた表情であった。